

よくわかる
MS(多発性硬化症)
ガイドブック

5



My Life with MS

ベタフェロンを使用される患者さんへ
注射部位反応への対処



資料請求先

バイエル薬品株式会社
大阪市北区梅田2-4-9 〒530-0001
<http://byl.bayer.co.jp/>

【監修】

愛媛大学大学院 老年・神経・総合診療内科学
講師 越智 博文 先生



My Life
with
MS

5

ベタフェロンを使用される患者さんへ
注射部位反応への対処

Contents

- 1 注射部位反応ってどうなるの？
- 2 注射部位反応がでたら
どうすればいいの？
- 3 注射部位反応って予防できるの？
- 4 上手な注射部位の
ローテーションは？
- 5 日ごろから気を付けておくことは？



コラム 患者さんの声



注射部位反応に対する予防法と 対処法を知ることが大切です。

ベタフェロンの皮下注射をした後に、注射部位の皮膚が赤くなったり、かゆくなったり、硬くなったりといった注射部位反応がでることがあります。これは皮膚についてのベタフェロンによる免疫反応が原因です。

これらの注射部位反応は、適切な予防法や対処法、日常的な皮膚のケアでコントロールできるものもあります。

ここでは、ベタフェロンによる注射部位反応について紹介しています。





1

注射部位反応って どうなるの？

注射部位の皮膚が
赤くなったり、
かゆくなったり、
硬くなったりすることがあります。

注射部位反応について

- 皮膚は私たちの体を包みこんでバリアとなり、水やホコリ、ウイルス、細菌といった異物が体の中に侵入するのを防ぐ役割があります。
- インターフェロンベータ製剤のような免疫系に作用する薬剤を注射すると、皮膚で免疫反応が起こり、皮膚が赤くなるなどの症状がみられることがあります。

注射部位反応の症状

注射部位反応の主な症状として、次のようなものがあります。

- ・注射時に痛む
- ・水ぶくれになる
- ・赤くなる
- ・化膿する
- ・硬くなる
- ・かゆくなる
- ・出血する
- ・変色する

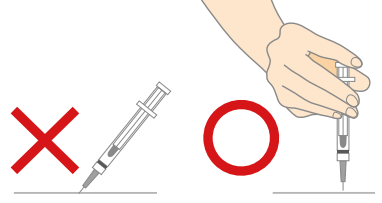


注射部位反応の原因

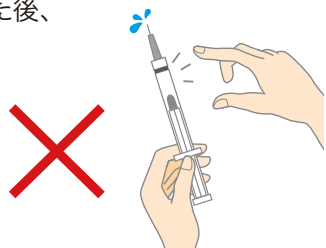
次のような場合、注射部位反応が特に起こりやすくなることが知られています。

- ・誤った手技で注射している

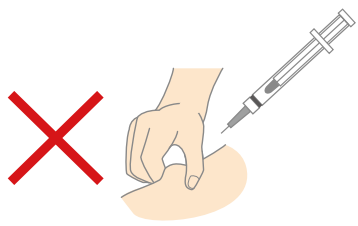
注射針は皮膚に対して90度(垂直)に、根元まで刺す



バイアルを取りはずした後、空気抜きをしない



注射時、注射部位の皮膚を強くつままない



- ・同じ部位に繰り返し注射している
- ・冷たいベタフェロン溶液を使用している
- ・注射の時に手が震える





2

注射部位反応が でたら どうすればいいの？

個人差はありますが、
それぞれの症状に対する
対処法があります。

注射部位反応の症状と対処法

- それぞれの症状に対する対処法があります。対処法の効果には個人差がありますので、悪化した場合は中止しましょう。
- また、症状がいつまでも続く場合や、いつもと違う強い症状がでたときには、主治医に相談しましょう。薬剤等の使用については医師の診察が必要です。

注射時に痛みがあるとき

- ・注射前に約1～3分間、注射部位を保冷剤で冷やします。

＜薬剤等の使用例＞ 貼付用局所麻酔剤

注射部位が赤くなったとき

- ・注射針は皮膚に対して90度に根元まで刺します。
- ・注射前後に約1～3分間、注射部位を保冷剤で冷やします。
- ・皮膚を保湿ローションで保湿します。

＜薬剤等の使用例＞ ステロイド外用剤
ベタコネクトの使用

注射部位が硬くなったとき

- ・注射後に軽くマッサージをします。
- ・注射後に冷やすのをやめます。または、温めてみます。

＜薬剤等の使用例＞ 血行促進・皮膚保湿剤

注射部位がかゆくなったとき

- ・刺激の少ない絆創膏で注射部位を保護して、衣服の刺激を受けないようにするという方法があります。
- ・皮膚にやさしい天然素材の衣服を着ます。

＜薬剤等の使用例＞ 抗ヒスタミン剤
注射用絆創膏

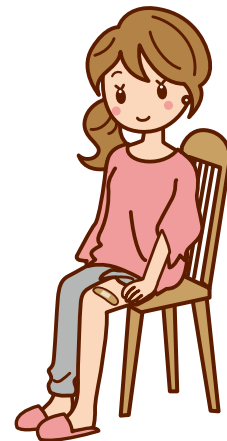
注射部位から出血した場合

- ・注射前後に約1～3分間、注射部位を保冷剤で冷やします。
- ・市販の止血効果のある注射用絆創膏を貼って圧迫して止血するという方法があります。

＜薬剤等の使用例＞ 血行促進・皮膚保湿剤
(血腫ができたとき)

変色、水ぶくれ、化膿など

- ・すぐに医師に相談しましょう。
- ＜薬剤等の使用例＞ 抗生物質外用剤
(悪化させると外科的処置が必要となる場合もあります)



- ・それぞれの対処法の効果には個人差があります。
- ・薬剤等の使用には医師の診察が必要です。



3

注射部位反応って 予防できるの？

注射部位反応の原因を
見直すことで、
予防できることがあります。

▶ 注射部位反応の原因と対策

- 特に、誤った注射手技や、同じ部位への注射の繰り返しが原因になることが多いため、正しい注射の手順をしっかりと身に付け、注射部位のローテーションをきちんと行うことが大切です。

原因 誤った手技で注射している

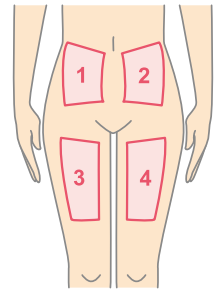
対策 定期的に正しい注射手技をマニュアルやDVD、ベタフェロンダイアリーの「自己注射法チェックリスト」で再確認しましょう。



原因 同じ部位への注射の繰り返し

対策 ベタフェロンダイアリーを活用して、注射部位のローテーションを再確認し、同じ場所に注射しないようにしましょう。

ローテーションを確認
注射部位のローテーションを再確認し、同じ場所に注射しないようにします。



原因 注射時に手が震える

対策 ベタコネクトを使用すると注射手技が安定しやすくなります。また、近くにご家族がいらっしゃる場合はご家族に注射してもらいます。

ベタコネクトの使用については医師に相談してください。

原因 冷たいベタフェロン溶液を使用

対策 冷蔵庫で保管しているときは、注射する30分前に冷蔵庫から取り出して室温に戻しましょう。冬場で室温でも薬液が冷たいときには、調製済の注射器を少しの間にぎって温めてから注射しても良いでしょう。



4

上手な注射部位のローテーションは？

ベタフェロンダイアリーを活用しましょう。

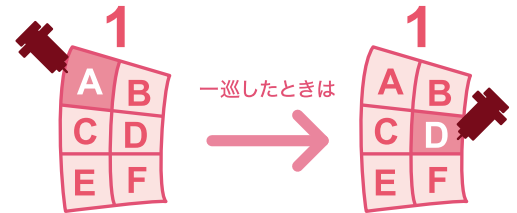
注射する部位

- 皮下注射に適している部位は、図のように体の前面と背面に4箇所ずつあります。

詳細な注射部位を記録するときは

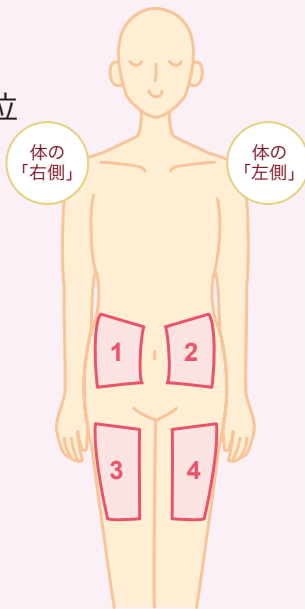
- 下図のように、注射部位の番号1～8をそれぞれA～Fに分割することで毎回詳細な注射部位(1-Aなど)を記録することができます。例えば、1-A、2-A・・・8-Aと一巡して再び1の部位に注射する場合は、前回の1-Aから離れた1-Dなどに注射することにより同じ部位への注射を回避することができます。

【参考例】



体の「前面」

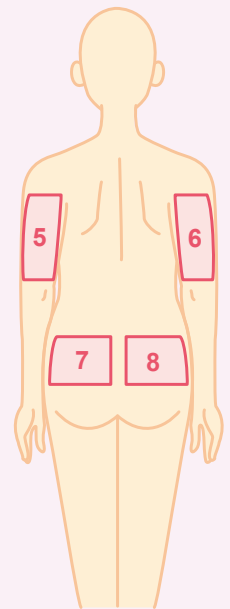
自分でも注射できる部位



体の前面の1～4の部位に順番に注射してください。

体の「背面」

自分では注射できない部位



指導を受けた家族が注射する場合は、体の背面の5～8の部位にも注射することができます。

注意点

- 見えている血管は避けて注射してください。
- へそ、ウエストラインおよび太ももの内側への注射は避けてください。
- 腫れやくぼみ、痛み、変色などがみられる部位への注射は避けてください。
- 注射したところが赤くなったり、硬くなったり、腫れたり、いつもと違う痛みを感じたなど、普段と違う強い症状があらわれた場合は、必ず主治医に相談して指示を受けてください。
- 詳しい注射部位については主治医の指示にしたがってください。



5

日ごろから 気を付けて おくことは？

保湿など、日ごろから
皮膚をケアするようにしましょう。

皮膚が乾燥すると皮膚の バリア機能が低下します。

- 皮膚にはバリア機能とよばれる皮膚表面の角質がもっている保水機能が備わっており、皮膚を守っています。
- 皮膚が乾燥したり、刺激を受けるとバリア機能が低下し、トラブルが起こりやすくなります。
- 失われた水分と油分を日ごろのスキンケアで補ってやると、健康な皮膚に生まれ変わっていきます。

日ごろから皮膚の保湿を 心がけます。

- 水分を十分にとりましょう。
- 日ごろから乾燥が気になる部分をボディローションやクリームなどで保湿し、皮膚をよい状態に保ちましょう。

注射後にも皮膚の ケアを行いましょう

- 注射部位の皮膚を日ごろからケアすることで注射部位反応を軽減することができます。
- 衣服の刺激によって注射部位反応が悪化することがあるので、ウエストラインなど衣服がこすれやすい部位への注射を避けるようにしましょう。



皮膚症状の改善例

皮膚症状の多くは数日すると自然に改善されます。また、皮膚の異変に早めに気付いて、すぐに対処することで、皮膚症状は改善しやすくなります。

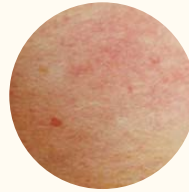
赤くなった



注射後に赤くなった

正しい注射手技を
再確認しましょう！

数日後、ほぼ改善



保湿剤などで皮膚を
ケアしましょう！

改善された





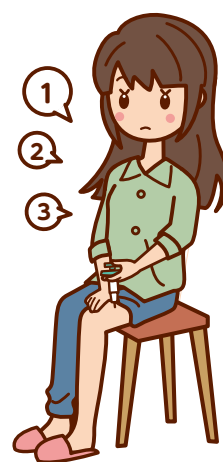
患者さんの声 ～注射に対する工夫～

注射のあとは、ベタフェロンダイアリーに小さいシールを貼っています。「今日もうまくできた」ってときはニコリシール。これがあると「前も3-Cはうまくできた。今日も!」とがんばれます。(女性・45歳)



ためらったり、いろいろ考えると、より怖くなるので、消毒したらすぐに注射しています。そして薬液を全部注入したあとは、十数秒待ってから針を抜くと、注射部位反応の軽減によい感じです。

(女性・32歳)



注射部位が決まったら、指や爪で強めに押して、痛みを経験しておきます。そして消毒して、プスッです。痛いときは思いきり「イタタタッ!」「アッチチチィ!」とか声を出すと、意外にもすっきりします。

(女性・31歳)

